安全データシート

改訂日:2022年9月14日

1. 化学品及び会社情報 化学品の名称(製品名) 推奨用途 会社名 住所

整理番号

2. 危険有害性の要約

電話番号

GHS分類

健康に対する有害性環境に対する有害性

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 危険有害性情報

注意書き

3. 組成、成分情報 化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名 別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号 官報公示整理番号(化審法/安衛法) その他

4. 応急措置

吸入した場合 皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置 適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の措置に関する特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

トリトンX-100 試験研究用

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪•本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

DE0216

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分2A 水生環境有害性 短期(急性):区分2 水生環境有害性 長期(慢性):区分2





警告

強い眼刺激 水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

【安全対策】

取扱後は眼をよく洗うこと。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。 漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

化学物質

トリトンX-100

ポリオキシエチレン(10)オクチルフェニルエーテル

ポリ(オキシエチレン)=パラ-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=

エーテル

C₃₄H₆₂O₁₁ CAS RN:9002-93-1

(7)-172

HSコード:3402.13

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 該当情報なし。

加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策(局所排気、全体排気) 安全取扱い注意事項

接触回避 衛生対策

保管

安全な保管条件 安全な容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度(出典)

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH 設備対策

保護具

呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

特別な注意事項

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色

臭い

融点•凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点 pH 溶解度

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度 可燃性 蒸発速度

n-オクタノール/水分配係数

自然発火温度 分解温度 動粘性率(粘度)

10. 安定性及び反応性

反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性 生殖毒性

特定標的臟器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

誤えん有害性

12. 環境影響情報

生態毒性

保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

取り扱い場所には局所廃棄装置を設置する。使用後は容器を密封する。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱後は眼をよく洗うこと。

取り扱い場所には局所廃棄装置を設置する。使用後は容器を密封する。

直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。

未設定未設定

未設定

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。

適切な呼吸器保護具を着用する。

ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。 該当情報なし。

粘調の液体

透明~淡褐色

該当情報なし。

–4 $^{\circ}\text{C}$: SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010) 120 $^{\circ}\text{C}$: SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)

該当情報なし。

251 ℃ (CC): NITE総合検索(Access on Nov. 2010)

7-9(5%aq soln): Merck (14th, 2006)

5.36 mg/L: SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010) アセトンに溶解: CERIハザードデータ集 (2001)

0.000003 mmHg (25°C) : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)

1.0595 (25°C/4°C) : Merck (14th, 2006) 20.8(空気 = 1)(9EO) : CERIハザードデータ集 (2001)

該当情報なし。該当情報なし。

4.86 : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)

該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。

通常の取り扱いに於て安定。

該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)

ウサギの眼に試験物質の10%液を0.1 mL適用した試験(OECD TG405)において、刺激性(角膜混濁、虹彩炎、結膜の発赤と浮腫)が認められたが、症状は全て適用後7~21日にほぼ回復し、MMAS(AOIに相当)= 68.7であった(ECETOC TR 48 (2) (1998))。(GHS分類:区分2A)

該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

短期: 魚類 (ブルーギル) の96時間LC50 = 3 mg/L (ECETOC TR91, 2003)。 (急性) (GHS分類: 区分2) 長期:

急性毒性区分2であり、急速分解性がない(BIOWIN)。(GHS分類:区分2)

(慢性)

残留性,分解性 該当情報なし。 該当情報なし。 生体蓄積性 該当情報なし。 土壌中の移動性 オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類で きない)

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がな

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

いよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

14. 輸送上の注意

品名(国連輸送名)

国連分類 容器等級 海洋汚染物質

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報がある場合の規制情報

陸上輸送 海上輸送 航空輸送

応急措置指針番号

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) 毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法

指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物に該当しない。

消防法の規定に従う。

航空法の規定に従う。

船舶安全法の規定に従う。

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[ポリ(オキシエチレ ン) =パラ-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル(別名トリトン X-100)][施行令別表9](2026年(令和8年4月1日)以降)

危険性又は有害性を調査すべき物[ポリ(オキシエチレン)=パラ-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル(別名トリトン X-100)] (2026年(令和8年4月1日)以降)

危険物に該当しない。

消防法

16. その他の情報 参考文献

職場の安全サイト(厚生労働省)

その他

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではあり ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではあり ませんので取り扱いには十分注意して下さい。